

事務事業名 雲南市文化事業企画運営業務			所属部 教育委員会	所属課 文化財課
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち《教育・文化》	所属G 文化財・文化振興グループ	課長名 山崎 修
	施策名	(32)地域文化の振興	担当者名 志賀 崇	電話番号 0854-40-1104
	目的・対象	市民 文化芸術を普及・振興し、地域文化(地域の伝統文化・歴史遺産)を次世代に伝える。		(内線) 4751
	基本事業名	(098)文化芸術の振興	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 1 文化振興事業	
	目的・対象	市民 文化芸術活動に親しむ。	項 目 中事業 中事業名 2 5 3 0 0 4 文化振興企画運営事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
☐ 単年度のみ	☒ 単年度繰返 (24 年度～)
☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
演劇・音楽・伝統芸能・文化展などの開催により、市民が優れた芸術文化に触れる機会を拡充し、文化振興、文化活動への理解関心を促進する。 また、地域の伝統文化や文化財保存活動と連携、発表の場づくりなど支援し、地域文化の保存継承を図る。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動)		28年度計画(28年度に計画する主な活動)			
	①委託契約業務		①委託契約業務			
	② 活動指標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
ア	業務委託契約	件	1	1	1	1
イ	計画事業	件	41	42	41	40
ウ	定期報告	回	4	4	4	4
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	① 市民	ア 雲南市人口	人	40,055	39,472	38,990	38,968
	② 市外の人	イ 市外人口	千人	127,258	127,043	127,071	126,154
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	①市民が文化芸術活動にふれる機会の拡充を図る。	ア 実施事業	件	41	44	40	40
	②市外へも積極的にイベントの情報発信をすることで交流人口の拡大を図る。	イ 入場・参加者数	人	26,567	34,582	36,889	37,000
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
雲南市文化事業企画運営業務委託料 9,000千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	6,500	6,400	6,400	6,500
	その他	千円	2,500	2,500	2,500	2,500
	一般財源	千円	0	5,800	100	
	事業費計 (A)	千円	9,000	14,700	9,000	9,000
	人件費	人	1	1	1	
	正規職員従事人数	時間	25	25	25	
	延べ業務時間	千円	97	97	98	
	人件費計 (B)	千円	9,097	14,797	9,098	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
年代やライフスタイルの多様化に伴い、文化事業に対するニーズも多様化している。過疎化が進み、地域での文化活動の向上が困難な状況になっている。	これまで、自主企画事業として指定管理料の中に含まれていた文化事業企画運営業務を平成24年度から指定管理と分離し、別途業務委託とした。	業務委託の内容について、精査が必要。事業費の一部に委託料が充てられている状況は問題があるとの指摘がある。

事務事業名	雲南市文化事業企画運営業務	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	---------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	☐ 見直し余地がある	☒ 結びついている * 余地がある場合⇒																								
B 有効性	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																									
	☐ 見直し余地がある	☒ 妥当である * 余地がある場合⇒																								
C 効率性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	☐ 見直し余地がある	☒ 適切である * 余地がある場合⇒																								
D 公平性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
	☒ 向上余地がある	理由 四半期ごとに事業の報告をしてもらい、次回への問題点等を明確にして成果を向上させる。																								
	☐ 向上余地がない																									
E その他	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																									
	☐ 影響無	理由 市の文化事業の運営ができなくなる。																								
	☒ 影響有																									
F その他	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																									
	☐ 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	☒ 他に手段がない	理由 類似した事業が他に存在しない。																								
G その他	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																									
	☒ 削減余地がある	理由 市以外の補助金を活用する等の方策が考えられる。																								
	☐ 削減余地がない																									
H その他	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																									
	☐ 削減余地がある	理由 主に契約業務、連絡調整業務が主体となるため、業務時間等の縮減は困難。																								
	☒ 削減余地がない																									
I その他	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？																									
	☐ 見直し余地がある	理由 市内外の方全体を対象としている。																								
	☒ 公平・公正である																									
J 評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり B 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり C 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり D 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																									
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			② 改革・改善による期待成果																							
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善) ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			<table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		●																							
	維持			×																						
	低下		×	×																						

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																							
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善) ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		●																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					
アウトリーチ事業を充実させ、市民が文化に触れられる機会のさらなる拡充を目指す。 事業内容について精査を行い、問題点の是正を図る。																									